

令和元年度 学校評価アンケート結果、分析・考察と改善方策

上島町立弓削中学校

学校の教育目標は『人権尊重の精神に基づき、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成』です。  
 グランドデザインに基づいて、項目を起こしています。

結果：【4＝あてはまる 3＝おおむねあてはまる 2＝どちらかといえばあてはまらない 1＝あてはまらない ?＝わからない】

評価：A＝対象の80%以上が4または3 B＝対象の70%以上が4または3 C＝対象の60%以上が4または3 D＝対象の60%未満が4または3

| 番  | 対象  | 評価指標   | アンケート結果 (%) |    |    |    | 評価 | 番  | 評価の分析・考察  | 今後の改善方策  |
|----|-----|--|-------------|----|----|----|----|----|---|--|
|    |     |  | 4           | 3  | 2  | 1  |    |    |   |  |
| 1  | 教職員 | 「知・徳・体の調和のとれた生徒の育成」の達成に向けて具体的に努力している。                            | 27          | 64 | 9  | 0  | A  | 1  | 保護者の評価が低いのは、学力の面において、保護者が不安に思っている傾向が強いためであると思われる。学校行事等においては生徒が生き生きと活動する姿が評価されているように思われる。                | 3つの柱のうち確かな学力を育てることがまだまだ不十分である。今年度もいろいろな手立てを考えたが、今後はさらにその点に重点を置いた取組を考えていきたい。                            |
|    | 生徒  | 「学校は、『確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる』ために努力している。」と思います。                     | 45          | 43 | 7  | 4  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「学校は、『確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる』ために努力している。」と思います。                     | 12          | 67 | 16 | 5  | B  |    |   |  |
| 2  | 教職員 | 心身ともに元気な生徒を育成するために、教育活動に工夫・改善を行っている。                             | 36          | 45 | 18 | 0  | A  | 2  | 文化祭やろ漕ぎ大会などの行事で、生徒が活発に活動する姿が多く見られていたためであると思われる。   | 学校行事や生徒会活動において、生徒が中心となって活動することができるような企画の作成や運営を行っていく必要がある。  |
|    | 生徒  | 元気に生き生きと学校生活を送っています。   | 49          | 32 | 13 | 6  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「お子さんは、元気に生き生きと学校生活を送っている。」と思いますか。                               | 40          | 47 | 10 | 3  | A  |    |   |  |
| 3  | 教職員 | 基礎・基本の充実を図り、確かな学力の定着・向上に向けて積極的に取り組んでいる。                          | 45          | 45 | 9  | 0  | A  | 3  | 特に保護者の評価が低い。各種学力テストや定期テストの点数等の結果から理解力不足を感じる部分が大いと思われる。  | 月曜日と水曜日の放課後の35分間を利用して実施している学習タイム等の内容を再検討して、まずはすべての生徒に対して基礎・基本の徹底をする必要がある。                              |
|    | 生徒  | 学習したことの基礎・基本が身に付いています。   | 21          | 66 | 10 | 3  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「お子さんは、学習したことの基礎・基本が身に付いている。」と思いますか。                             | 13          | 42 | 35 | 10 | D  |    |   |  |
| 4  | 教職員 | 指導法や指導体制の工夫・改善に努め、わかる授業づくりに取り組んでいる。                              | 36          | 55 | 9  | 0  | A  | 4  | 保護者の評価が低い。保護者は教科の授業を実際に見る機会が少なく、評価項目の3番と同じように、生徒の学習成果から判断したのではないかとと思われる。                                | 今年度は授業参観日意外に授業公開日を設定したが、保護者の参加率が低かった。来年度は多くの保護者が授業を参観していただき、授業の様子を周知してもらい取り組みをしていく必要がある。               |
|    | 生徒  | 先生たちは、わかりやすく教えてくれています。   | 51          | 40 | 4  | 4  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「先生は、お子さんにとって分かりやすい授業づくりに努めている。」と思いますか。                          | 4           | 55 | 33 | 8  | D  |    |   |  |
| 5  | 教職員 | 効果的な宿題の提示や自主学習の在り方など、具体的な指導に努めている。                               | 30          | 50 | 20 | 0  | A  | 5  | 家庭での課題として、昨年から引き続き自主学習を毎日与え、家庭での学習の習慣づけをはかっているが、マンネリ化してきて、自主学習にかかる時間も減少し家庭学習の時間自体が減ってきていると考えられる。        | 自主ノートの活用方法や授業ノートの見直しなど基本的なところから取り組む。また、家庭学習の習慣は、小学校からの積み重ねが大切なので小・中の連携を図り徹底させていくことが大切である。              |
|    | 生徒  | 家で宿題や自主学習、読書などを合わせて設定時間(1年1.5 2年2.0 3年2.5)以上しています。               | 28          | 37 | 22 | 13 | C  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「お子さんは、家で宿題や自主学習、読書などを合わせて設定時間(1年1.5、2年2.0、3年2.5)以上している。」と思いますか。 | 13          | 27 | 33 | 27 | D  |    |   |  |
| 6  | 教職員 | 学校行事や体験的な活動は、創意工夫・改善するように努めている。                                  | 55          | 27 | 18 | 0  | A  | 6  | 今年度も学校や地域での体験的な活動や地域人材を生かした活動が充実しており、一人一人活躍する場が得られている。  | 生徒がさらに生き生きと活動するためには、様々な行事において、企画の段階で生徒からの提案も聞き、教員側も早く計画を立てることで、生徒が主体になって取り組むことができるようにしていくことも必要になってくる。  |
|    | 生徒  | 学校行事や体験的な活動は、充実しています。  | 57          | 34 | 4  | 4  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「学校は、学校行事や体験的な活動の充実に向けて努力している。」と思いますか。                           | 22          | 67 | 12 | 0  | A  |    |   |  |
| 7  | 教職員 | 道徳や学級活動、人権集会などの充実にも努め、自他の生命尊重や人権意識の高揚を図っている。                     | 55          | 27 | 18 | 0  | A  | 7  | 親子ふれあい学習や、人権参観日での子育て講座等様々な研修の機会があり、人権意識が高まった。   | 道徳教育を充実し、道徳の授業だけでなく、地域での体験活動や地域の方々や保護者が参加する活動において、生徒が親子や地域の方々と話し合い考える時間を増やしていく必要がある。                   |
|    | 生徒  | 自他の命の大切さを考え、いじめや差別のない学校生活を送っています。                                | 74          | 24 | 0  | 3  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「お子さんは、自他の命の大切さを考え、いじめや差別をしない行動をとっている。」と思いますか。                   | 55          | 43 | 2  | 0  | A  |    |   |  |
| 8  | 教職員 | 全校運動(弓削中タイム)や部活動が、生徒の健全育成に向けた活動になるよう取り組んでいる。                     | 27          | 64 | 9  | 0  | A  | 8  | 今年度はサーキットトレーニングと持久走に加え、リズムトレーニングを取り入れ、弓削中タイムがマンネリ化しないように工夫してきたことが高評価に表れていると思われる。                        | 弓削中タイムでは、今年度の取組を継続させ、持久力だけでなく筋力やリズム感等のさらなる向上を目指していく。部活動においても切磋琢磨をさせ忍耐力を身につけさせるとともに、充実感を味わえるような活動をしていく。 |
|    | 生徒  | 全校運動(弓削中タイム)や部活動に一生懸命取り組んでいます。                                   | 76          | 9  | 12 | 3  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「学校の部活動が、生徒の健全育成の手立ての一つとして活動できている。」と思いますか。                       | 26          | 60 | 6  | 8  | A  |    |   |  |
| 9  | 教職員 | 基本的な生活習慣の育成に向けて、適切に指導している。                                       | 45          | 36 | 18 | 0  | A  | 9  | 朝の登校に関しては遅刻してくる生徒はあまりいないが、学校で行っているアンケート結果から就寝時間がかなり遅い生徒が数名いる。そこが保護者の低い評価につながっているのかと考えられる。               | 就寝時間やスマホに関する実態調査から改善策を考え、保護者への協力依頼をしていくなど、PTAとの連携は必要不可欠である。生活リズムチェックを続け、生徒自身にも基本的な生活習慣の育成に向けた自覚を促す。    |
|    | 生徒  | 基本的な生活習慣が身に付いています。   | 40          | 44 | 15 | 1  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「お子さんは、基本的な生活習慣が身に付いている。」と思いますか。                                 | 25          | 39 | 25 | 11 | C  |    |   |  |
| 10 | 教職員 | 大きな声で進んで気持ちのよいあいさつができるよう、適切に指導している。                              | 45          | 36 | 18 | 0  | A  | 10 | 毎朝の正門前でのあいさつ運動を実施しているので、いい評価を受けてはいるが、大きな声で気持ちの良いあいさつに関してはまだ十分でないように思われる。                                | 朝のあいさつ運動や部活動などにおいて地域の方や他校の生徒保護者、先生方に対して「大きな声で気持ちの良いあいさつ」をすることの大切さを根気強く言い続け実践できるようにさせていきたい。             |
|    | 生徒  | 大きな声で気持ちのよいあいさつが進んでできています。                                       | 37          | 44 | 16 | 3  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「お子さんは、大きな声で気持ちのよいあいさつが進んでできている。」と思いますか。                         | 26          | 49 | 23 | 2  | B  |    |   |  |
| 11 | 教職員 | 交通ルールやマナーを守って安全に登下校できるよう、適切にと指導している。                             | 55          | 36 | 9  | 0  | A  | 11 | 道路を横断する際の左右確認や、ヘルメット着用など交通ルールの遵守はほとんどの生徒が普段からできており、交通安全に対する意識が高い。                                       | 登校指導や交通安全教室においてはもちろんであるが、危険な場面に遭遇したり見かけて場合は、そのつど指導をしていくことが大切である。                                       |
|    | 生徒  | 交通ルールやマナーを守って安全に登下校できています。                                       | 82          | 15 | 1  | 1  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「中学生は、交通ルールやマナーを守って安全に登下校できている。」と思いますか。                          | 46          | 49 | 3  | 2  | A  |    |   |  |
| 12 | 教職員 | アンケートや教育相談などを実施し、全教職員が協力して、問題の早期発見・早期対応に努めている。                   | 73          | 9  | 9  | 9  | A  | 12 | あゆみ指導や毎月実施している生活アンケートを通して、生徒の悩みに関する実態把握に努めているが生徒と保護者の評価は低い。普段から相談しやすい雰囲気づくりをし、よりいっそう教育相談の機会を充実させる必要がある。 | 定期的な教育相談だけでなく、いつでも相談できる体制や雰囲気づくりをしていく。また、小さな問題でも電話連絡や家庭訪問等を行い家庭との連携を密にし、常に情報交換を行う。                     |
|    | 生徒  | 困ったことがあったら、家の人や先生に相談しています。                                       | 46          | 29 | 19 | 6  | B  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「学校は、お子さんのことで相談した場合、誠意をもって対応している。」と思いますか。                        | 25          | 53 | 19 | 4  | B  |    |   |  |
| 13 | 教職員 | 自ら清掃活動を一生懸命行い、生徒への指導もきちんと行っている。                                  | 36          | 45 | 18 | 0  | A  | 13 | 清掃時間においては、生徒が少なくなり隔々まで十分に行えていないが、一人一人が一生懸命行う姿勢は見られる。校内環境整備においては、長期休業中の水やりは生徒が当番制で行い、環境美化に努めた。           | 短い時間内でも生徒がさらに真剣に、時間いっぱい進んで取り組むことができる態度を育てていくことが大切である。  |
|    | 生徒  | 清掃活動を一生懸命(黙働、皆働、静働)しています。  | 65          | 31 | 3  | 1  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「学校は、校庭や校舎などがいつも美しく清掃や整備がされている。」と思いますか。                          | 38          | 60 | 2  | 0  | A  |    |   |  |
| 14 | 教職員 | 非常時に適切に対応できるような訓練や指導の充実にも努めている。                                  | 64          | 27 | 9  | 0  | A  | 14 | 毎学期違った場面を想定した避難訓練や防災教育を実施して、生徒に避難経路や避難方法の定着を行っているが、今後も引き続き実施していきたい。                                     | 避難訓練が「訓練のための訓練」とならないよう、災害等の事例を紹介し、生徒の危機意識を高めることが大切である。   |
|    | 生徒  | 地震(津波)、火事のとときや不審者に出会ったときの安全な行動の仕方を知っています。                        | 63          | 31 | 4  | 1  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「安心して子どもを預けられる安全面に配慮した学校である。」と思いますか。                             | 31          | 58 | 10 | 2  | A  |    |   |  |
| 15 | 教職員 | 家庭や地域との連携を図るための手段を講じ、積極的にしている。                                   | 82          | 0  | 18 | 0  | A  | 15 | 保護者への連絡が十分に行き届いていない場合がある。学校と家庭の日頃からの連携が学校行事やPTA役員会活動の成果に結びついていると思われるので、さらに保護者との連携を図っていく必要がある。           | 諸行事やPTA活動に対して工夫を凝らし、学校・保護者・地域が一体となった学校教育の機会を充実させる。学校便りやHP、マチコミ等を有効活用し、生徒の様子をリアルタイムに発信していくことが大切である。     |
|    | 生徒  | 学校からの保護者へのプリントをきちんと渡しています。                                       | 54          | 40 | 6  | 0  | A  |    |   |  |
|    | 保護者 | 「学校は、家庭との連携を図るための手段を講じ、積極的にしている。」と思いますか。                         | 19          | 57 | 13 | 11 | B  |    |   |  |